

ふう けい き こう
風景紀行
豊橋自然歩道
 64
 愛知森林管理事務所
 (各署の景勝地等を紹介)

豊橋自然歩道 (豊橋国有林)

中部局管内の最南端、愛知県と静岡県境に位置し、標高わずか五十メートルから四百メートルほどの丘陵地で、赤石山脈末端の山稜が豊橋国有林です。

一帯は、石巻山をはじめとした展望絶佳な弓張山系や、「高山の蛇穴」「葦毛湿原」など、地質・植物学上も貴重な所が多い地域で、石巻山多米県立自然公園に指定されています。

「自然歩道」といえば東京と大阪を結ぶ「東海自然歩道」が有名ですが、「東海自然歩道」の計画が発表された昭和四十三年、そのルートが、豊橋市内を通らないことを知った市内の自然愛好家の団体代表が集まり、「豊橋独自の自然歩道を作ろう!」と一念発起し、翌四十四年、石巻山自然歩道の整備から始まり、今日まで大岩町の東山(松明峠)から石巻町の(中山峠)まで稜線総延長十六キロの本線と、二川自然歩道支線など十五の支線・巡回遊歩道が市民団体により整備されました。

既存歩道の一部は、歴史的に見ても古くは、信仰の道、交易の道、森林資源の運搬の道として、山中につくられていましたが、初期の目的を失い荒れ果て消失寸前の状態から「自然に親しむ遊歩道」としてよみがえったのです。

歩道本線はほぼ中央部にある坊ヶ峰を中心に、南北に縦貫している稜線部からは、富士山が展望できる眺望箇所をはじめ、遠州灘や三河湾、南アルプス、浜名湖が展望出来ます。

また、周辺の山麓には、植物群の宝庫として人気がある「葦毛湿原」や、奈良時代に創建されその後幾多の兵火に遭いつつも数々の重要文化財が保存されている「普門寺」をはじめ、京都と鎌倉を結ぶ鎌倉街道として戦国時代も重要な戦略拠点であった「船形山城址」などの名所・史跡が点在しております。

四季を通じて散策や山歩きを楽しむことができ、アクセス箇所も多いことから身近な自然歩道として豊橋市民に親しまれています。

近隣住民の方には健康維持・増進のため日課として歩いている方もみえます。

〈所在地〉

愛知県豊橋市(豊橋国有林及び大沢国有林)

◆アクセス(主な登山口)

○二川コース

JR二川駅から豊橋自然歩道の南の起点、松明峠まで徒歩約四十分

○葦毛湿原コース

豊橋鉄道「飯村・岩崎線」「岩崎」バス

停降車、三百三十メートル程東に登山口、豊橋自然歩道本線まで徒歩約五十分

○普門寺コース

JR新所原駅から普門寺まで徒歩約六十分

○中山コース(大沢国有林)

豊橋鉄道「西郷小学校前」バス停降車、一・五キロメートル東に中山自然歩道登山口



豊橋自然歩道本線コース



普門寺本堂



船形山城：なだらかな稜線が船底の形に見えることから船形山と呼ばれる。左側の山頂に城址



歩道本線から浜名湖・豊橋市内方面を望む